

WELFARE INFORMATION GIFU

# 福祉だより ぎふ

## 令和2年度「岐阜県単位民児協会会長研修会」が開催されました

令和2年10月16日(金)より11月30日(月)にて、岐阜県単位民児協会会長研修会を開催しました。一度に集まる人数を減らす為、岐阜県5圏域に分かれての研修会となりました。

各地域の民児協運営、地域福祉推進の要である単位民児協の会長を対象に民生委員・児童委員の果たすべき役割を再確認し、活動の一層の充実強化を図ることができるよう、講義、演習が行われました。



「把握し、つなぎ、見守る」の  
推進に向けて」講義を行う  
合同会社 泉恵造  
研修企画工房の代表社員  
泉 恵造 氏

新型コロナウイルス感染症対策のために、受付時に手指消毒、体調確認、検温を行いました。参加者はマスクを着用し、座席の間隔を広く取りソーシャルディスタンスを保って受講されました。

## CONTENTS

2020  
**12**  
No.698



ともにん



愛と希望

- 福祉のお仕事魅力発信フェスタ  
来て・見て・感じて ふくしワールド【開催報告】…………… P 2
- 福祉のまちづくりフォーラム2020  
『今だからこそ』コロナ禍から創出される新たな“つながり活動” …… P 4
- 『私たちは常に住民に寄り添う「良き隣人」』を掲げて  
～中津川市民生委員児童委員協議会連合会～…………… P 5
- 岐阜県ボランティア活動振興基金助成事業  
<令和3年度申請団体募集のお知らせ>…………… P 6
- リフトバス「ながら号」仮予約受付開始 …………… P 7
- お知らせ…………… P 8

# 来て・見て・感じて・ふくしワールド

## 福祉のお仕事魅力発信フェスタ

### 【開催報告】

岐阜県福祉人材総合支援センターでは、10月24日(土)にモレラ岐阜(本巣市三橋) 1階 オレンジプラザにて福祉の仕事魅力発信フェスタ 「来て・見て・感じて・ふくしワールド」を開催しました。

当日は、モレラ岐阜の来場者も多く、「ふくしワールド」には443名が立ち寄りられました。

### ▼新型コロナウイルス感染症の影響がある中での開催

今年度は開催にあたり、会場内でのコロナ感染拡大防止対策を施すことに加え、コロナ禍に対応した企画内容となりました。従来は参加者の方々が「福祉」を体験して福祉への理解を深め、福祉の仕事のイメージアップを図ることを目的としていましたが、今年度はコロナ感染防止対策のため、会場内での接触等がない写真展・動画

展を中心とした「福祉のお仕事の魅力発信」イベントとなりました。

### ▼写真展「オンライン笑顔の笑顔の写真展」

福祉の職場で働く職員の方々や、その施設の利用者様の笑顔の瞬間をとらえた写真など、福祉の仕事のイメージアップにつながる写真



の展示を行いました。

モレラ岐阜に買い物に来られた方々が、写真の前で足を止めご覧になられました。中には、22点の写真とその説明をじっくり眺め、「いいね」投票に参加する方もありました。多くの方が福祉の現場に見つけた「笑顔」に魅了されていました。

### ▼ポスター展「福祉の職場NOW」

「コロナ禍でも、止められない福祉」をテーマに、コロナ禍の福祉施設の日常を伝えるポスター展を実施しました。徹底したコロナ対策やコロナ禍でも利用者様の笑顔を絶やさない職員の努力を目にした来場者の方々から、多くの応援メッセージをいただきました。

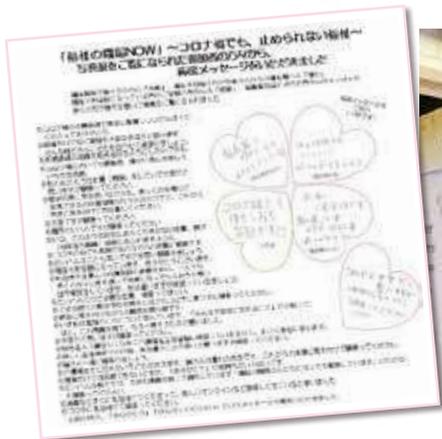
家族が福祉施設でお世話になっている方からの「感謝」、福祉の仕事を目指している方からの「憧れ」、同じ福祉の仕事で働く方からの「共感」や「労い」、普段は福祉に関わりがない方からも「ありがとう」「がんばって」などのメッセージが寄せられました。



◀▲オンライン特設サイトで公開中

### ▼動画展「オンライン福祉の職場紹介」

県内福祉施設の特徴ある取り組みなどを5本の動画で紹介しました。介護施設の動画では、利用者様のために工夫を凝らした映画会





の紹介、福祉・医療を通じた地域共生社会を目指す法人の取組紹介、障がい者福祉施設の動画では迫力ある和太鼓の演奏が始まり、施設での様々な支援のあり方を紹介し、個性ある各施設の動画を見入る方々の姿がありました。動画は当日から「ふくしワールド」オンライン特設サイトで公開しているため、早速ご自身のスマートフォンで見られる方もいました。

▼コロナ禍でも止められない  
人材センター

さらに写真展・動画展に加え、昨年度実施し来場者の関心が高かった自助具の紹介や作り方、介助技術も動画で紹介しました。またコロナ対策を施し、会場内での福祉の仕事相談（予約制）も行い、5名の方が利用されました。

今回のイベントの目的は「福祉の仕事魅力発信」と人材センターのPRでした。福祉の魅力を発信し、福祉人材を確保・育成を支援する人材センターは、コロナ禍でも止められない福祉と共に、常に稼働しています。

モレラ岐阜で開催した写真展・動画展等は、令和3年3月31日まで岐阜県社会福祉協議会ホームページ内「ふくしワールド」オンライン特設サイトにて公開されています。当日会場に出掛けられなかった方も、ぜひご覧ください。

【主催】岐阜県・岐阜県社会福祉協議会  
 【協力】岐阜県老人福祉施設協議会、岐阜県老人保健施設協会、社会福祉法人たんぽぽ福祉会、社会福祉法人美谷会、社会福祉法人あゆみの家、ぎふ福祉の魅力知らせ隊、社会福祉法人岐阜県福祉事業団



新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度体験年行っている福祉の職場体験バスツアーをオンラインで行います。



特設サイトはこちら  
 または「ふくしワールド」で検索  
 10月24日～令和3年3月31日公開



特設サイトはこちら  
 または  
 「親子の福祉の職場体験バスツアー」で検索  
 11月13日～令和3年3月31日公開

# 福祉のまちづくりフォーラム2020

## ～『今だからこそ』コロナ禍から創出される新たな“つながり活動”～



11月9日(月) Web会議ツール「Zoom」を使用し、市町村社協役員や社協職員・福祉関係者、福祉活動に関心のある方を対象に「福祉のまちづくりフォーラム」を開催し、約200名の参加者が熱心に耳を傾けました。

今もなお、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが見えない状況が続く中、つながりを途切れさせない取り組みが必要とされ、新たな活動が創出されています。そこで、今年度は「『今だからこそ』コロナ禍から創出される新たな“つながり活動”」をテーマとし、県外から2社協の実践発表と金城大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 内慶瑞氏を講師に招き講演を行いました。



### 実践レポート①

「福祉のまちづくりから『福祉でまちづくり』

～苦境(コロナ禍)の中で生まれた新しい仕組み～

北海道・鷹栖町社会福祉協議会 事務局長 梅澤美幸 氏



### 実践レポート②

「コロナ禍でも『つながり』をあきらめない

～多くの仕掛けと工夫で ALL TOKAI のまちづくり～

茨城県・東海村社会福祉協議会 企画経営担当係長 古市こずえ 氏

企画総務係主事 横須賀こごみ氏



### 講演

「『今だからこそ』コロナ禍から創出される新たな“つながり活動”」

金城大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 内慶瑞 氏

～岐阜県内で取り組まれているコロナ禍における“つながり活動”をご紹介します～

## 高齢者の方に送る「お手紙ボランティア」

岐阜市社会福祉協議会  
(岐阜市)

コロナ禍においても「人との繋がりを感じ、大切にしたい。」との思いから、本センターで毎月発行しているボランティア案内板にて、高齢者の方に送る「お手紙ボランティア」を、8月20日～9月30日まで募集しました。

8歳～86歳と幅広い年齢層の方から寄せられた、延べ102通のお手紙は、どのお手紙からも人と人との繋がりを感じる心あたたまるものでした。

お一人でも多くの方に見ていて頂きたいとの思いから、102通全てをカラーコピーし、市内8カ所の高齢者入所施設に届けました。

高齢者の方からは、「みんな、丁寧に書いてくれているね。」「外出も出来ない中、お手紙を読む時間が楽しかった。」「みな同じだ。今を乗り切ろうね!」等の感想をいただきました。

また、施設の担当者からも、「会えなくても、つながりを感じる素敵なお手紙ばかり。職員もあたたかい気持ちになりました。」との声をいただきました。



岐阜県内他の社会福祉協議会における“つながり活動”については、岐阜県社会福祉協議会ホームページに掲載しております。福祉だよりの誌面においても今後ご紹介してまいります。

# 『私たちは常に住民に寄り添う「良き隣人」』を掲げて

## 中津川市民生委員児童委員協議会連合会

### 中津川市の概要

現在の中津川市は、平成17年、島崎藤村生誕の地、長野県山口村馬籠を含む越県の8市町村の大合併でした。人口86,364人、世帯数27,928世帯、高齢化率24.5%でしたが、令和2年4月1日現在は人口77,865人、世帯数31,165世帯、高齢化率32.5%と、人口減少、高齢化率が上昇し、私たち民生委員児童委員の活動に期待感が高まっております。

中津川市民生委員児童委員協議会連合会は、15地区、委員数225名（主任児童委員30名）で構成され、毎月連合会役員会を開催して単位民児協の活動を支援しています。

### 単位民児協の運営を支援する連合会活動の取り組み

単位民児協の支援を目的に、平成28年の前回改選以降、活動支援と各地区共通化事業を目指して現状を分析、把握をすると、問題点と課題が見えてきました。

前回3年間は10項目について検討と課題解決を行い、今年度も引き続き取り組んでいます。その一

例として「命のバトン」について紹介します。



▲役員を対象に研修会を開催  
講師は連合会長が務めました

### 社会福祉協議会と民生委員児童委員協議会が連携した「命のバトン」の取り組み

◇ねらい

「命のバトン」は、一人暮らし高齢者等を対象に、持病やかかりつけの病院、服薬、緊急時の連絡先などの「救急情報」を入れたケースを冷蔵庫に保管し、急病などの緊急時に、消防署の救急隊員がその情報を確認することで、いち早く適切な救急活動につなげるためのものです。

独居高齢者等の緊急時支援策として、中津川市では平成21年から平成24年にかけて取り組みを始めました。信頼度の向上、継続性、市

内統一を目指して、今年度は試行期間、来年度から本格運用を始めます。

◇関係組織の役割分担の明確化  
・社会福祉協議会と民生委員・児童委員協議会が連携した共同事業として取り組む。

・社会福祉協議会は基本事業として、各地区へ予算配分、事務局支援（資機材調達・名簿作成・消防署提出）を行う。

・民生委員・児童委員協議会は、毎年度の更新及び追加実務作業を実施する。

◇設置対象者

- ・65歳以上の独居高齢者
- ・寝たきりの者
- ・認知症高齢者
- ・75歳以上の高齢者のみの世帯で必要な者
- ・障がいのある者で必要な者

◇配布する資機材

- ・ボトル：冷蔵庫内の扉へ保管
- ・マグネットシール：冷蔵庫の扉等見える位置へ貼る
- ・情報用紙：ボトル内へ保管⇕救急隊ニーズ内容
- ・服用のお薬情報：情報用紙と一緒に保管



▲「命のバトン」資機材一式

◇情報用紙の更新

- ・情報用紙は年度ごとに色を変えて毎年9月に更新する。
- ・年度途中で対象者が発生した場合は随時追加する。

◇その他整備した書類

- ・実施要領の作成（関係者用）
- ・事業説明書の作成（設置対象者説明用）

### 新たに活動スローガンを策定

今年度から連合会の活動スローガン『私たちは常に寄り添う「良き隣人」』を掲げて活動しています。人間関係が希薄になった今、地域で困っている人たちと同じ目線で支援活動に取り組んでまいります。



▲活動強化週間に市内一斉にのぼり旗を掲げて街頭活動をします

# 岐阜県ボランティア活動振興基金助成事業

## <令和3年度申請団体募集のお知らせ>

本会では、岐阜県におけるボランティア・市民活動のさらなる発展を支援することを目的に、標記助成事業を実施しております。皆様からのご応募お待ちしております。

### 1. 助成対象者〔一般事業・特別事業共通〕

- (1) 岐阜県内で活動する団体又は法人
- (2) 法人格のない団体は会則、規約を有し5名以上で構成された組織
- \*一般事業で申請する場合、法人格のない団体は設立後1年以上経過していることが要件となります。

### 2. 助成対象事業

一般事業	<p><b>地域の課題解決に向け、必要に応じて様々な団体と連携しながら、新たに取り組む事業</b></p> <p>①高齢者福祉に関する事業／②障がい者福祉に関する事業／③児童福祉に関する事業 ④子育て支援に関する事業／⑤若者の社会自立に関する事業／⑥生活困窮者等の自立支援に関する事業／⑦災害ボランティア活動に関する事業</p> <p>*既存事業の継続や拡充(実施回数の増加等)は助成対象外です。</p>
特別事業	<p><b>地域共生社会の実現に向けて、今日的な福祉課題の解決に取り組む次の事業</b></p> <p><b>①子どもの貧困対策事業</b> 〔生活困窮世帯、ひとり親家庭の子どもや保護者を対象に子ども食堂や学習支援を行う活動〕</p> <p><b>②高齢者・障がい者等に対する生活支援サービス事業</b> 〔家事援助、食事、買い物、送迎等の制度外サービスの活動〕</p> <p><b>③社会的に孤立しがちな人々の居場所づくり整備事業</b> 〔認知症、精神障がい、引きこもり、発達障がい等に対するたまり場づくり、社会参加、就労支援の活動〕</p>

\*国、地方公共団体又は民間団体が実施する補助制度を活用している事業等は助成対象外です。

### 3. 助成期

- (1) 一般事業：単年度助成(助成年度以後3年間は助成対象としません)
- (2) 特別事業：助成決定年度から3年間継続して申請することができます。

### 4. 助成限度額

- (1) 一般事業：助成対象経費の10分の9以内とし30万円を限度とします。
- (2) 特別事業：助成対象経費の10分の9以内とし30万円を限度とします。ただし、3年間継続して申請する場合、初年度は50万円を限度とします。

### 5. 助成対象経費〔一般事業・特別事業共通〕

- (1) 助成対象事業を実施するために必要な次の経費を助成します。  
謝金、旅費交通費、消耗品費、会議費、印刷製本費、通信運搬費、使用料及び賃借料、備品購入費
- (2) 設立1年から3年以下の団体は運営費(人件費以外の経費)も対象とします。  
\*土地の取得経費、法人又は団体の人件費・運営費、振込手数料、損害保険料、高額物品、福祉車両購入に伴う税金等は対象外です。

### 6. 募集期間

令和2年11月2日～令和2年12月25日



**問合せ先**

岐阜県社会福祉協議会 総務企画部 地域福祉・ボランティア担当〔電話058-201-1546〕



# リフトバス「ながら号」

令和3年度運行分  
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

## 仮予約の受付を開始します!

1. 受付開始日 令和3年1月12日(火)
2. 受付開始時間 午前9時 (受付時間前の申込はご遠慮ください)
3. 受付電話番号 058-201-1545  
058-201-1546

※受付は先着順に行いますので、ご希望に添えない場合があります。

※特に、受付開始当初は電話が大変混雑します。

その際は、一旦受付のみで電話を切り、改めてこちらから電話をいただいた順にお電話をいたします。

※令和3年度利用者負担額(基本会費等の単価)は現時点では未定です。

決まり次第、ホームページ等で公表します。

岐阜県社会福祉協議会ホームページ <https://www.winc.or.jp>

令和2年度  
社会福祉施設  
総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険 検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

## 事故・紛争円満解決のために!

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン① 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

■ 基本補償(賠償・見舞)

保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

▶ 年額保険料(掛金)	
定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
100名以降1名~10名増ごと	1,500円

付加費用(見舞費用)は別表参照

基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】  
定員1名あたり  
入所: 1,300円  
通所: 1,390円



スケールメリットを活かした  
充実した補償と  
割安な保険料  
です。

プラン② 施設利用者の補償

プラン③ 施設職員の補償

プラン④ 社会福祉法人役員等の補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)  
損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

## ありがとうございました!

### トヨタL&F中部株式会社様より車いすの寄贈

11月13日、トヨタL&F中部株式会社（佐藤達男取締役社長）様より、車いすの寄贈をいただきました。

同社は、社会貢献活動の一環として、平成19年度より毎年、愛知県・岐阜県・三重県の社会福祉施設等へ車いすの寄贈を行っており、本年度、岐阜県については、県内10か所の障害者施設に計20台が寄贈されました。

寄贈式においては、トヨタL&F中部(株)の第5営業部部長稲垣裕貴様より、本会の小林常務理事に目録が手渡され、小林常務理事から稲垣様に感謝状を贈呈いたしました。

また、寄贈先施設を代表し、共同生活はしまの管理者である杉山様が車いすを受け取られ、お礼の言葉を述べられました。



▲写真右から、トヨタL&F中部(株)松田CSR推進部部長、稲垣第5営業部部長、共同生活はしま 杉山様、本会小林常務理事

### 「小さな親切」運動岐阜県本部様より寄贈



去る10月27日、「小さな親切」運動岐阜県本部様より本会を通じ、東濃地域の小・中・高等学校及び特別支援学校（10校）に対し、車いすの寄贈がありました。寄贈された車いすは各学校にて福祉教育等に活用されます。

◀「小さな親切」運動岐阜県本部加藤副代表(左)から目録を受け取る県社協小林常務理事=岐阜グランドホテル

## 支援金の御礼

このたびの令和2年7月豪雨災害に際し、社会福祉法人大阪府社会福祉協議会様・大阪府市町村社会福祉協議会連合会様より10万円の支援金をいただきました。  
いただいた支援金は被災地支援に活用させていただきます。

\*本誌に対してのご意見、ご要望等ございましたら、下記までお寄せください。

発行所 社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会 〒500-8385 岐阜県岐阜市下奈良2-2-1

TEL(058)205-1545 FAX(058)275-4858 ホームページアドレス <https://www.winc.or.jp/> 購読料30円は会費に含む 毎月1回・15日発行